**７　学　年　道　徳　科　授　業　案**

　　　　　　　　　令和５年１２月３日（日）　第１校時

**１　研究主題**

豊かな人間力をそなえた子どもの育成

～ＩＣＴ機器の効果的活用による学力向上をめざして～

**２ 主題名**

自分と相手との違い（B(11)相互理解、寛容）

**３　主題設定の理由**

○　生徒観

(略)

○　教材観

本単元は「ＧＩＧＡワークブックこおりやま」を教材として用いて行う。自分と相手との違いについて、自分が「嫌な言葉」がグループやクラスで違うことを共有させることができ、同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付くことのできる教材である。「自分が一緒に写っている写真を公開される」ことがトラブルにつながることや、文字だけで伝えると、感情が伝わらないこと、その文字が誤解されやすいことに気付かせることもできる。

　○　指導観

人との関わりにおいては、自分の考えや意見を伝えるとともに、自分と異なる意見も尊重しようとする気持ちをもつことが大切である。しかし、思春期においては、感情の起伏が激しく、ささいなことから感情の行き違いが生じ、せっかくの友情関係が台無しになることもある。自分が「嫌ではないこと」が相手にとって「嫌なこと」であるなど、理由とともに違いを認識できるようにする。また、自分のプライベートな一面がＳＮＳに公開されることがトラブルになることや、文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについてロールプレイをし、相手の表面的な言動だけでなく、内面的な感情にも触れることで、相互理解につなげていくことができるようにする。

**４　主題のねらい**

◎　自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、人にはいろいろな見方や考え方があることを理解し、自分と異なる意見も大切にしようとする心情を育てる。

【B(11)相互理解、寛容】

**５　学習計画（総時数３時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | □ねらい | 〇ねらいを達成・確認するための活動や手立て、留意点 |
| １ | 【いじめに当たるのはどれだろう】  □　いじめに当たる行為や判断の根拠について考えることを通して、人にはいろいろな見方や考え方があることを理解し、相手の立場や個性を尊重しようとする態度を育てる。 | ○　イラストにいじめに当たると思うもの全てに印をつける。  ○　一人ずつ理由を発表してモニターに印をつけ、相手と自分の考えが違うところがあることを認識できるようにする。 |
| ２ | 【落語が教えてくれること】  □　人にはいろいろな見方や考え方があることを理解し、それぞれの個性や立場を尊重しようとする心情を育てる。 | ○　主人公が感じたことを考え、二つ以上発表する。  ○　人にはいろいろなものの見方や考え方があり、互いに個性や立場を尊重することについて、自分の問題として考えられる発問をする。 |
| ３  **（本時）** | 【自分と相手との違い】  □　同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があること、文字だけで伝えると感情が伝わらないため誤解されやすくなることに気付き、相手の立場や気持ちに配慮しながら行動しようとする心情を育てる。 | ○　自分の「嫌な言葉」が相手の「嫌な言葉」と同じではないことに気付かせるためにカードを活用し、グループワークでお互いの考えを共有する。  ○　自分と相手との違いを比べたときにどのようなトラブルが起こる可能性があるかカードを活用しグループで協議する。 |

**６ 本時のねらい**

同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があること、文字だけで伝えると感情が伝わらないため誤解されやすくなることに気付き、相手の立場や気持ちに配慮しながら行動しようとする心情を育てる。

**７ 授業の構想**

　（１）グループでカードを活用し「嫌な言葉」を自分と相手で比べ、共有することで、自分にとって「嫌な言葉」が相手にとっては「嫌でない言葉」の場合もあることを理解することができるようにする。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（手立て１）

　（２）グループ活動で各自のタブレットを使い、カードを並び替えて自分が「嫌ではない」と思っていたことが、相手にとって「嫌なこと」であるなど理由を含めて確認することで、お互いの認識の違いによって、トラブルに発展する可能性があることに気付くことができるようにする。

（手立て２）**※ＩＣＴ活用に関わる内容**

**８ 学習過程**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動　・生徒の反応 | 時間 | ○　指導上の留意点　　◇　評価  ☆　ＩＣＴ活用 |
| １　自分が言われて嫌な言葉があるか、どのような言葉が嫌でどのように感じるのかを考える。  ２　本時の課題をつかむ。  自分と相手の考え方・感じ方はどう違うのかな。  ３　P.14①を行い、カードを一枚選び、タブレットで拡大して提示する。  （１）嫌だと感じた理由を書く。  （２）P.14②を行い、自分と友達が選んだカードを見て気が付いたことをタブレット内の学習カードに記入する。  （３）P.14③を行い準備されたカード以外の言葉を考えタブレット内の学習カードに記入する。  ４　P.15①を行い、タブレット内でカードを並べる。  （１）P.15Ａ・Ｂをそれぞれ行い、グループで理由とともに共有する。  ５　P.16③を行いどのようなトラブルが起こる可能性があるかタブレット内の学習カードに記入する。  ６　「真面目だね」を文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて考える。  ７　自分の生活や内面を振り返る。  　・自分と相手の感じ方の違いをふまえた経験。  　・自分の感じ方・考え方だけを優先してしまった経験。 | ５  ２  １９  １９  ５ | ○　私生活（学校生活を含む）の中でかわされる何気ない言葉のやりとりで自分が嫌だと感じる言葉を発表できるようにする。  ○　カードの中から１枚を選び、グループの全員が見えるように提示し、嫌だと感じた理由を説明できるようにする。  ○　クラスで共有し、気が付いたことを発表できるようにする。  ☆　タブレットに理由も入力できるようにする。  ○　５枚のカードを、「嫌だ」と感じる順に並べ、グループの全員が見えるように提示するよう伝える。  ○　Ａ・Ｂそれぞれの理由をタブレットに入力させる。  ○　グループで理由を説明し合いクラス全体で共有し、発表できるようにする。  ○　たかしさんと花子さんに、どんなトラブルが起きる可能性があるか考えさせる。  ◇　自分と相手の感じ方の違いについて自分の考えを深めているか。（ワークシート）  ○　これまでの経験を振り返る中で、自分と相手の違いをふまえてできた経験の心地よさ等を共有することで、相互理解することのよさを感じとることができるようにする。 |

**９ 板書計画**

本時の課題

あなたが、クラスの友達から言われて「嫌だ」と感じる言葉を一つ選んでみよう。

あなたが、ＳＮＳ等でクラスの友達からされて「嫌だ」と感じる順に並べてみましょう。

たかしさんと花子さんに、どのようなトラブルが起きる可能性があるか、考えてみましょう。

自分と相手の考え方・感じ方はどう違うのかな。

真面目だね

マイペースだね

個性的だね

一生懸命だね

おとなしいね

すぐに返信が来ない

なかなか会話が終わらない

知らないところで自分の話題が出ている

話をしているときにケータイ・スマホをさわっている

自分が一緒に写っている写真を公開される